

令和3年度（2021年度）北海道ふるさと・水と土指導員名簿

令和3年7月 現在

No.	局名	市町村名	氏名	職業等	主な活動	推薦者	任期	備考
1	空知	岩見沢市	小西 泰子	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	
2	空知	三笠市	赤坂 卓也	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	新規
3	空知	三笠市	田中 亮	団体職員	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	新規
4	空知	栗山町	金丸 大輔	地方公務員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
5	空知	雨竜町	外山 謙一	無職	農村景観保全・自然再生活動等	土地連	令和4年3月31日	
6	空知	沼田町	池内 孝司	団体職員	環境整備指導等	町長	令和6年3月31日	新規
7	石狩	石狩市	阿岸 哲広	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	
8	後志	蘭越町	松山 廣	農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
9	胆振	厚真町	尾谷 純司	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	新規
10	胆振	洞爺湖町	青山 伸子	農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
11	日高	日高町	田中 義光	農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
12	日高	新冠町	佐藤 剛	酪農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
13	日高	浦河町	中川 貢	団体職員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
14	日高	浦河町	以西 明美	自営業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
15	日高	浦河町	西 利明	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	新規
16	渡島	知内町	佐藤 暁樹	住職	自然観察指導	町長	令和6年3月31日	
17	渡島	知内町	笠松 悦子	農業	農産物加工販売等	町長	令和6年3月31日	
18	渡島	七飯町	田中 いずみ	会社役員	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
19	渡島	八雲町	小林 石男	農業	地場産品加工直売	町長	令和6年3月31日	
20	檜山	江差町	小笠原 明彦	団体嘱託員	農村景観・農作業体験指導	土地連	令和4年3月31日	
21	檜山	上ノ国町	吉見 俊彦	無職	農村環境・景観保全活動等	土地連	令和5年3月31日	
22	檜山	厚沢部町	佐々木 俊司	会社役員	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
23	檜山	せたな町	富樫 一仁	農業	地域活動全般	土地連	令和4年3月31日	
24	上川	幌加内町	中村 雅義	農業	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
25	上川	鷹栖町	中江 正博	改良区職員	地域活動全般	土地連	令和4年3月31日	
26	上川	当麻町	小野寺 孝一	無職	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
27	上川	上川町	佐藤 績	農業	地域活動全般	土地連	令和5年3月31日	
28	上川	上川町	辰巳 明美	農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
29	上川	中富良野町	久保 照美	花卉卸し販売	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
30	上川	南富良野町	岩永 かずえ	農業	農産物地産地消活動等	町長	令和5年3月31日	
31	上川	南富良野町	鷹嘴 充子	会社役員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
32	留萌	小平町	長澤 政之	地方公務員	自然体験指導	町長	令和4年3月31日	
33	留萌	小平町	高野 幸子	農業	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
34	留萌	苫前町	高瀬 徹	改良区職員	環境整備活動等	町長	令和5年3月31日	
35	留萌	苫前町	福田 怜也	改良区職員	環境整備活動等	町長	令和5年3月31日	
36	宗谷	稚内市	菊池 工	会社員	地域活動全般	市長	令和5年3月31日	
37	宗谷	稚内市	加藤 八重子	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	新規
38	林-ㇿ	北見市	馬淵 陽子	農業	農産物直売等	市長	令和6年3月31日	
39	林-ㇿ	北見市	黒須 倫子	農業	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
40	林-ㇿ	美幌町	午来 博	地方公務員	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
41	林-ㇿ	津別町	佐野 多希子	農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
42	林-ㇿ	清里町	柳谷 亜紀子	農業	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
43	林-ㇿ	湧別町	久保 美恵子	酪農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
44	林-ㇿ	興部町	仲元寺 恒平	団体職員	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
45	林-ㇿ	興部町	八木 実央	地方公務員	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
46	林-ㇿ	雄武町	石井 恭子	会社員	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
47	十勝	帯広市	伊藤 由紀子	酪農業	地域活動全般	市長	令和4年3月31日	
48	十勝	鹿追町	高橋 貴子	会社員	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
49	十勝	本別町	岡崎 慶太	会社役員	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
50	十勝	本別町	谷口 まどか	管理栄養士	地域活動全般	町長	令和4年3月31日	
51	釧路	厚岸町	高橋 美佐子	無職	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	
52	釧路	鶴居村	服部 政人	団体職員	都市農村交流等	村長	令和4年3月31日	
53	釧路	鶴居村	水本 梨佳	酪農業	地域活動全般	村長	令和5年3月31日	
54	根室	別海町	水沼 和子	無職	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
55	根室	別海町	渡邊 広美	酪農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
56	根室	別海町	尾形 好枝	酪農業	地域活動全般	町長	令和5年3月31日	

令和3年度（2021年度）北海道ふるさと・水と土指導員名簿

令和3年7月 現在

ブロック	委員（市町村）、◎会長、○副会長、△幹事、アンダーラインは女性			
道央15名	空知6名	小西 泰子 (岩見沢市)	後志1名	松山 廣 (蘭越町)
		赤坂 卓也 (三笠市)	日高5名	△田中 義光 (日高町)
田中 亮 (三笠市)	佐藤 剛 (新冠町)			
金丸 大輔 (栗山町)	中川 貢 (浦河町)			
△外山 謙一 (雨竜町)	<u>以西 明美</u> (浦河町)			
池内 孝司 (沼田町)	西 利明 (浦河町)			
	胆振2名	尾谷 純司 (洞爺湖町)	石狩1名	◎阿岸 哲広 (石狩市)
		<u>青山 伸子</u> (厚真町)		
道南8名	渡島4名	佐藤 暁樹 (知内町)	檜山4名	小笠原 明彦 (江差町)
		<u>笠松 悦子</u> (知内町)		△吉見 俊彦 (上ノ国町)
		田中 いずみ (七飯町)		佐々木 俊司 (厚沢部町)
		○小林 石男 (八雲町)		富樫 一仁 (せたな町)
道北14名	上川8名	中村 雅義 (幌加内町)	留萌4名	長澤 政之 (小平町)
		中江 正博 (鷹栖町)		△高野 幸子 (小平町)
		△小野寺 孝一 (当麻町)		高瀬 徹 (苫前町)
		佐藤 績 (上川町)		福田 怜也 (苫前町)
		<u>辰巳 明美</u> (上川町)	宗谷2名	菊池 工 (稚内市)
		<u>久保 照美</u> (中富良野町)		<u>加藤 八重子</u> (稚内市)
		○岩永 かずえ (南富良野町)		
		鷹嘴 充子 (南富良野町)		
道東19名	林-ツ9名	△馬淵 陽子 (北見市)	十勝4名	<u>伊藤 由紀子</u> (帯広市)
		<u>黒須 倫子</u> (北見市)		△高橋 貴子 (鹿追町)
		午来 博 (美幌町)		岡崎 慶太 (本別町)
		<u>佐野 多希子</u> (津別町)		谷口 まどか (本別町)
		<u>柳谷 亜紀子</u> (清里町)	釧路3名	<u>高橋 美佐子</u> (厚岸町)
		<u>久保 美恵子</u> (湧別町)		○服部 政人 (鶴居村)
		仲元寺 恒平 (興部町)		<u>水本 梨佳</u> (鶴居村)
		<u>八木 実央</u> (興部町)	根室3名	<u>水沼 和子</u> (別海町)
		<u>石井 恭子</u> (雄武町)		<u>渡邊 広美</u> (別海町)
				<u>尾形 好枝</u> (別海町)

計56名

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和3年度)

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

北海道

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	<p>本道の農村は、農家戸数の減少や高齢化の進行などが続いており、コミュニティ機能が脆弱化し、地域の活力の低下が顕在化している。特に、中山間地域においては、農地の立地条件が悪く、生活環境等の定住条件にも恵まれないため、過疎化・高齢化が進み、担い手への農地集積が進まず遊休農地が増加するなど、農業生産活動の停滞はもとより、地域のコミュニティ機能や農業・農村の多面的機能の発揮に支障を来している状況にある。</p> <p>このため道では、農地や土地改良施設、自然環境、景観など地域の多様な資源を活かして、生態系の保全整備や都市との交流、地域の特色ある料理の開発など様々な活動を促進してきたが、地域住民が主体性を持ち持続的に活動に取り組む地域の確立に向けて気運の醸成とモデル的な活動事例の創出が必要である。</p>
事業実施の基本方針	<p>本事業では、農地や土地改良施設、自然環境、景観、伝統文化などの多様な資源を発掘し、これら資源を地域住民が主体性を持って活かした多様な活動をモデル的に実施することでその効果を検証する。</p> <p>具体的な方法としては、地域の現状把握や住民意識の醸成、明確な目標を設定した3年程度の活動計画の策定、計画に基づいた実践活動、活動の評価・検証などの地域住民による主体的な取組を支援することにより、住民の自立意識を醸成し、継続性を持った効果的な住民活動が実施されるよう促す。</p> <p>また、こうした住民活動を全道に広げるとともに、地域の様々な資源を活用した多様な住民活動を実践・指導する人材として、ふるさと・水と土指導員を委嘱し、現地見学や研修会等の意見交換の場を通して、住民活動の手法や活動意欲をこれまで以上に高め、今後の地域づくりを担う人材として、その育成に努める。</p> <p>全道各地で住民活動の活性化を図る観点から、HPや情報誌の発行などを通して、本事業における取り組みとその成果を全道に普及する。</p>
事業実施計画	<p>全道各地で地域の多様な資源を活かし住民活動が発展・継続することにより、中山間地域におけるコミュニティ機能を維持し、地域再生や地域活性化を図る。ひいては、農業・農村の有する多面的機能を良好に発揮することを目指す。</p>

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
地域活動支援事業	道内における地域住民活動の活性化を図るため、他の地区のモデルとなるような多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区をモデル的に支援することでその効果を検証する。	①	ふる水第3-2-(1) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	地域の現状を把握し、住民の地域づくりへの意欲を醸成するため、住民の意識調査やアドバイザーを招いた勉強会などの開催、その後の地域住民活動の目標と具体的な活動内容等を定めた3年程度の活動計画の策定、計画に基づく実践活動、活動のステップアップを図るための評価・検証など地域住民が主体となった取組の支援を5ヶ年で10地区程度実施する。					
人材育成	活動の実践と地域住民活動の活性化に向けた指導・助言等を行う人材として、北海道ふるさと・水と土指導員を育成する。	②	ふる水第3-2-(2) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	多様な地域住民活動を実践・指導する人材として北海道ふるさと・水と土指導員を委嘱し、指導員相互の情報交換と地域づくりの手法等習得のための研修会や現地研修会を5ヶ年で20回程度開催する。 また、地域住民活動の活性化を図る地域をさらに広げるため、5ヶ年で10人程度新たに指導員を委嘱する。					
推進事業	事業の円滑な執行と効果的な推進、地域住民活動の拡大を図る取組を行う。	③	ふる水第3-2-(3) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	事業の進捗状況に応じた効果的な助言を得て、事業の推進を図っていくため、5ヶ年で10回程度委員会を開催する。 また、事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、市町村や各種活動団体に対し、5ヶ年で10回程度、独自の情報誌を発行するほか、適宜事業の制度説明や活動事例の提供を行う。					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
中山間ふるさと・水と土保全対策事業費（ふる水と土基金）			計画事業費 (実績額)	13,630 3,647	13,618				
中山間ふるさと・水と土保全推進事業費（棚田基金）			計画事業費 (実績額)	780 780	782				

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①	地域活動支援事業	多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区数	10地区	2地区						
②	人材育成	指導員等の資質向上のための研修会等の開催数	20回	2回						
		指導員の委嘱人数	10人	4人						
③	推進事業	事業の推進に係る効果的な助言を得るための委員会の開催数	10回	2回						
		情報誌の発行回数	10回	2回						

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考	
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針		
①	地域活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動できていない継続地区においても状況の把握に努め、活動内容の変更や支援期間の延長など適宜対応すること。 委員会による活動地区での意見交換が実施できなかったが、現地に行けない場合もオンラインでの実施などを検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援地区において新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動が進まない場合など、計画の進捗を適宜把握し、当該年度計画の活動内容の見直しや活動期間延長など柔軟に対応する。 ふる水委員による支援地区との意見交換（アドバイス）について、状況に応じオンラインも含め、適宜開催できるよう努める。 	
②	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、バス移動等を伴う現地研修は中止となった。一方、指導員会及び地域づくり研修会は、会場においては感染症対策を徹底した上、オンラインも併用し、遠隔地に在住する指導員も参加できるよう開催されていた。今後は平時においてもオンライン開催を適宜検討し、研修機会の提供に努めること。 指導員の委嘱は今後も幅広い人材発掘に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等は必要に応じオンラインも併用し、研修機会を確保するよう努める。 指導員委嘱については関係機関とも連携の上、現地研修会時に直接説明するなど、積極的に人材の発掘に努める。 	
③	推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施されている。今後も事業のPRに努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、情報誌発行のほか、事業の制度説明や活動事例の提供を随時行う。 	

事業実施対象市町村一覧

総合振興局等名	市町村名
石狩 1市1村	<u>石狩市</u> 、新篠津村
渡島 2市9町	函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町
檜山 7町	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町
後志 1市12町 6村	小樽市、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
空知 9市14町	夕張市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、砂川市、歌志内市、深川市、 <u>岩見沢市</u> 、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町
上川 4市15町 2村	<u>旭川市</u> 、士別市、名寄市、富良野市、鷹栖町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、美瑛町、 <u>上富良野町</u> 、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町
留萌 1市6町1村	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町
宗谷 1市8町 1村	稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、幌延町
ホ-ツ 2市14町 1村	<u>北見市</u> 、紋別市、美幌町、大空町、津別町、 <u>斜里町</u> 、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町
胆振 2市7町	登別市、 <u>伊達市</u> 、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町、白老町、安平町、厚真町、むかわ町
日高 7町	日高町、平取町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町
十勝 14町1村	士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、更別村、 <u>幕別町</u> 、大樹町、広尾町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町
釧路 1市6町1村	釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糖町
根室 1市3町	根室市、別海町、標津町、羅臼町
合計	25市、122町、14村 計161市町村

(※下線は、一部指定されている市町村)

令和3年度（2021年度） 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業計画(案)

1 地域活動支援事業

- (1) 実践活動地区（5地区、括弧は年次）
根室市厚床地区（4）、上ノ国町上ノ国地区（4）、由仁町由仁地区（3）
本別町本別地区（1）、オホーツク広域地区（1）
- (2) 住民意識醸成地区
新規地区（2地区程度を掘り起こし）

2 研修事業

- (1) 指導員の委嘱（随時）
- (2) 全国研修（未定）
- (3) 地域づくり研修会（2月中旬 札幌市）
- (4) 現地研修（道北・留萌 7月中～下旬）→ **今年度は中止**
（道南・渡島 10月中～下旬）→ **状況によりオンラインツアー体験を検討**
- (5) 北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会（7月、2月中旬 札幌市）
- (6) 北海道ふるさと・水と土指導員会（2月中旬 札幌市）
- (7) 振興局・ブロック別会議 **道央：空知管内（時期未定）**
道南：未定
道北：旭川市（9月）
道東：十勝管内（11月）
- (8) 情報誌「里づくり」の発行 2回（9月、12月）
- (9) メルマガ「里づくり通信」の配信 毎月

3 推進事業

- (1) 委員会の開催 2回（7月、3月）
- (2) 活動地区との意見交換
（厚床地区、上ノ国地区、由仁地区、本別地区、オホーツク広域地区）
- (3) 地域活動支援事業地区の掘り起こし強化（7月、10月）
- (4) ホームページの更新
 - ① 指導員プロフィール
 - ② 事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報
- (5) 啓発普及
「新・田舎人」（108～111号）の配布

令和3年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 スケジュール（案）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修事業	道主催の研修				第1回 幹事会 (札幌) 現地研修 (道北 留萌) ※中止				現地研修 (道南 渡島)			第2回 幹事会 (札幌) 地域づくり 研修会 (札幌)	
	他主催の研修						全国研修 (東京) ※未定						
	情報誌等の発行						里づくり 23号			里づくり 24号			
推進事業	委員会					第1回 委員会							第2回 委員会
	活動地区と委員との意見交換会												
	その他				新・田舎人 108号		新・田舎人 109号			新・田舎人 110号			新・田舎人 111号
その他					農水省 ふる水基金 全国担当者 会議 ※中止								

振興局・ブロック別会議（道央・道南・道北・道東）

メルマガ「里づくり通信」（毎月、随時）

厚床地区・上ノ国地区・由仁地区・本別地区・オホーツク広域地区

地域活動支援地区の掘り
起こし強化期間（2回）

令和3年度(2021年度)中山間ふるさと・水と土保全対策事業予算

(単位:千円)

区分	分類	R3予算額 (当初)	R2予算額 (当初)	R2実績額	
	地域支援活動 事業費	厚床地区	2,000	1,940	863
		上ノ国地区	300	515	21
		由仁地区	323	547	127
		本別地区	1,208	455	170
		オホーツク広域地区	1,063	—	690
		新規採択地区	880	2,302	—
	小計		5,774	5,759	1,871
2	研修事業費	地域づくり研修会、指導員会	1,790	1,917	1,111
		現地研修	3,117	3,110	0
		情報誌等	363	362	289
		全国研修会	474	477	0
		振興局・ブロック別会議	1,247	1,237	287
	小計		6,991	7,103	1,687
3	推進事業費	委員会	484	482	85
		現地調査等	802	716	445
		啓発活動	349	350	339
	小計		1,635	1,548	869
合計			14,400	14,410	4,427

地域活動支援事業




令和2年度（2020年度）事業実績及び
令和3年度（2021年度）活動計画

別記様式第4号
活動計画

団体名		厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム					市町村名	根室市			地区名	厚床				
めざす姿		地域資源を活かし、農商工連携を促進しながら、都市と地域の交流拠点づくりに取り組み、地域の活性化を図る														
活動の方向	No.	活動の内容				目標(数値・定性)				解決すべき課題						
	①	◇厚床地域ビジョン作成に関する取組み ・地域間及び世代間交流人口の増加 ・地域資源(魅力)の確認				<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン作成 ・防災キャンプ開催 ・あつとこ農園開設 ・自然学習会開催 ・フットパス整備 ・交流会開催 ・視察研修 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域マップ作成 ・PR動画作成 ・ワークショップ開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域への活動内容の周知及び理解を得る ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確立 		
	②	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進				<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信 ・ワークショップ開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担の確立 						
3年間の活動プロセス	活動事項	関連No.	令和2年度(当初)			令和2年度(変更)			令和3年度			最終目標	適用事業			
			内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標					
	厚床地域ビジョン作成に関する取組み	①	防災キャンプの開催	900	1回	※中止	0		防災キャンプの開催	1,100	1回		中山間ふるさと・水と土保全対策事業			
		①	フットパスコース整備	210		※中止	0		フットパスコース整備	510						
		①	あつとこ農園	200		※中止	0									
		①	ワークショップ開催	390	4回	ワークショップ開催	390		ワークショップ開催	390	4回					
		①	自然学習(巣箱作り、バードウォッチング)	50	2回	※中止	0									
		①	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10	2回	※中止	0									
		①	視察研修	180		※中止	0									
		①				地域住民アンケート調査	633									
①																
計			1,940			1,023			2,000							
		ワークショップ、住民アンケート		北海道大学大学院農学研究院 准教授 小林 国之												
		フットパスコース整備		専修大学 教授 泉 留維												
		防災キャンプ		北海道教育大学釧路校 准教授 宮前 耕史												

令和2年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
実践活動の評価・検証結果

【根室振興局】

市町村名	根室市	
活動地区名	厚床	
活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクトチーム	
活動実績の当初・変更計画との比較	<p style="text-align: center;">当初・変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災合宿(3泊4日、9月) ・フットパスコース整備(9月) ・あつとこ農園(5月) ・ワークショップ開催(4回) 	<p style="text-align: center;">実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災合宿、フットパスコース整備、あつとこ農園については新型コロナウイルス感染拡大防止により中止。 ・ワークショップ開催(2回) 第1回(7/29)15人参加。 第2回(3/10)アンケート調査結果報告会第1部22名、第2部19名参加。 ・アンケート調査(9/15～18、10/22～25)厚床地域の住民、関係者を対象に買い物、医療、福祉、娯楽、生活で困っていることなどの聞き取りを行った。
活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、防災合宿、フットパスコース整備、あつとこ農園が中止となった。 ・根室市のR2年委託費で厚床ふるさと会館改築基本構想委託が計上され、地域要望のとりまとめが必要となったため、アンケート調査を北大生の協力により実施。 ・第2回ワークショップで「アンケート調査結果報告会」を開催し、協力いただいた地域住民、関係者へ内容を確認し、さらに整理して根室市へ提出する。 	
次年度の活動方向(活動の改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度開催できなかった防災合宿、フットパスコース整備を実施し、多世代間交流を促進する。 ・フットパスコース整備のプロモーション動画の作成を行い、ホームページへ掲載することで、フットパスのPRを行う。 	
活動状況写真(別添可)	 <p>令和2年7月29日(水) 第1回ワークショップ開催</p>	 <p>令和2年9月15日(水)～18日(金) 令和2年10月22日(木)～25日(日) 地域住民・関係者へのアンケート調査</p>
	 <p>令和3年3月10日(水) 第2回ワークショップ</p>	
総合振興局等から見た活動地区及び活動団体の状況	<p>厚床ふるさと館の構想設計が動き出し、地域住民・関係者の要望聞き取り(アンケート調査)を行い、厚床地域の活性化に勢いを付けようと考えていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、多世代間交流を行うことができなかった。</p> <p>また、厚床ふるさと館の設計担当課(根室市)との連携がうまく取れず、いまだにワークショップ等への参加する予定も無い状況。</p> <p>今後は、活動団体から根室市担当課への積極的な関わりが必要となる。</p>	

令和3年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
地域活動支援事業実施計画

【根室振興局】

市町村名	根室市	活動地区名	厚床	
活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクトチーム			
関連No.	内容	項目(費目)	金額	積算根拠
①	防災合宿(3泊4日)	08_旅費	450,000	札幌～根室*5(航空機)
		08_旅費	200,000	釧路～根室*5(列車)
		10_需用費	250,000	食材、資材等
		13_使用料及び貸借料	200,000	バス借上
①	フットパスコース整備	10_需用費	210,000	長靴、スコップ等
		12_委託料	300,000	プロモーション動画作成
①②	ワークショップ	07_報償費	160,000	10,000円*4h*4回
		08_旅費	230,000	航空機,日帰り*4回
合計			2,000,000	
費目計		07_報償費	160,000	
		08_旅費	880,000	
		10_需用費	460,000	
		11_役務費	0	
		12_委託料	300,000	
		13_使用料及び貸借料	200,000	

別記様式第4号
活動計画

団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班			市町村名	上ノ国町			地区名	上ノ国				
めざす姿	「絹さやえんどう」を活用して、上ノ国町の「食」の魅力を地域内外に発信し、また地産地消を促進することで地域内経済を活発にして地域振興、産地の維持を図る。												
活動の方向	No.	活動の内容			目標(数値・定性)			解決すべき課題					
	①	町民の「絹さやえんどう」に対する関心を高める。			・町内の小学校等対象にした食育活動の実施。(年1回)			・食育活動が継続しておこなわれる関係づくり。					
	②	地元料理店と連携し、「さやえんどう料理、加工品」の開発、地元定着を図る。			・地元料理人と料理、加工品に関する検討。(年1回)			・さやえんどう料理、加工品の地元定着。					
	③	活動体制を強化する。			・農業者、商工観光業者等と今後の活動について検討。(年1回)			・継続的に活動を展開する関係づくり。					
	④	「絹さやえんどう」を町内で流通させる。			・農業者、需要者等と町内流通について検討。(年1回)			・町内流通の定着。					
3年間の活動プロセス	活動事項	関連No.	令和2年度(当初)			令和2年度(変更)			令和3年度			最終目標	適用事業
			内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標	内容	予算額(千円)	年度目標		
	町民向けの食育活動	①	上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催	34.71	1回/年(2月)	※中止						町民が「上ノ国＝絹さやえんどう産地」であることへの理解	中山間ふるさと・水と土保全対策事業
			上ノ国産サヤエンドウのPR	370	2回/年(8-11月)	※中止			上ノ国産サヤエンドウのPR	145.0	1回/年(3月)		
	地元学校とのさやえんどう利活用連携活動	50	3回/年(10-11月)	地元学校とのさやえんどう利活用連携活動	20.65	1回/年(11月)	地元学校とのさやえんどう利活用連携活動	120	1回/年(11月)				
	「サヤエンドウ料理、加工品」の開発、定着	②	さやえんどう加工品の開発	60	3回/年(6-10月)	さやえんどう加工品の開発	0	3回/年(6-10月)	地元料理人と料理、加工品に関する検討	33	1回/年(6-10月)	「絹さやえんどう」料理、加工品の地元定着	
活動体制の強化	③						農業者、商工観光業者等と今後の活動について検討	1	1回/年(6-10月)	持続性のある活動体制の確立			
「絹さやえんどう」の町内流通	④	「絹さやえんどう」地域内販売の試行	0	1回/年(6-10月)	「絹さやえんどう」地域内販売の試行	0	1回/年(6-10月)	農業者、需要者等と町内流通について検討	1	1回/年(6-10月)	「絹さやえんどう」の町内流通		
計			515			21			300				
関係者等	上ノ国町		農林課農業林業グループ主査 連絡先 0139-55-2311 石山 雄大										
	JA新函館厚沢部基幹支店		生産施設課調査役 出口 秀樹										
	上ノ国町商工会青年部		部長 久末 元										

市町村名	上ノ国町	
活動地区名	上ノ国	
活動団体名	檜山南部サヤエンドウ生産組合企画班	
活動実績の当初・変更計画との比較	<p style="text-align: center;">当初・変更</p> <p>【当初】</p> <p>①上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催</p> <p>②上ノ国産サヤエンドウのPR</p> <p>③地元学校とのさやえんどう利活用連携活動</p> <p>④さやえんどう加工品の開発</p> <p>⑤「絹さやえんどう」地域内販売の試行</p> <p>【変更】</p> <p>①「上ノ国サヤエンドウ料理教室の開催」はコロナの影響のため未実施</p> <p>②「上ノ国産サヤエンドウのPR」はコロナの影響でイベントが開催されず未実施</p>	<p style="text-align: center;">実績</p> <p>「地元学校とのさやえんどう利活用連携活動」</p> <p>・上ノ国河北小学校において、さやえんどう栽培をしている片石氏を講師に、レシピ集を参考にしたさやえんどう料理が作られた。</p> <p>「さやえんどう加工品の開発」</p> <p>・北海道工業技術センターの協力で、フリーズドライからのさやえんどう粉末を作った。これは地元料理店からの提案である。良質な粉末ができたが、フリーズドライ機器が高価で購入できないことから、地元では製造できない。実際取り組む場合は委託製造となる。そのことから、安価に粉末を製造するため、温風乾燥による粉末づくりもおこなった。</p> <p>「絹さやえんどう」地域内販売の試行</p> <p>・道の駅「上ノ国もんじゅ」でさやえんどうが販売された。</p>
活動の課題	・さやえんどうの町内利活用、消費定着。	
次年度の活動方向(活動の改善点等)	・食育活動の実践。 ・農業者、商工業観光業者との連携。	
活動状況写真(別添可)	<p>【河北小学校食育授業】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>メンバーによるさやえんどう料理づくり指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>さやえんどうの肉巻き</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>【さやえんどう粉末づくり】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>工業技術センターでフリーズドライ作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上: 熱風乾燥からの粉末 下: フリーズドライからの粉末</p> </div> </div>	
総合振興局等から見た活動地区及び活動団体の状況	<p>コロナウイルスの影響で各種イベントが中止となり、思うような活動ができなかった。来年度に向けては、生産者と上ノ国商工会議青年部が連携して地域内流通の促進に力を入れて活動していきたい。</p>	

令和 3 年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
地域活動支援事業実施計画

【檜山振興局】

市町村名	上ノ国町	活動地区名	上ノ国	
活動団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班			
関連No.	内容	項目(費目)	金額	積算根拠
①	地元学校とのさやえんどう利活用連携活動	10_需用費	120,000	食材費等
	上ノ国産サヤエンドウのPR	10_需用費	145,000	【ヨコノ印刷】 500部×290円
②	地元料理人と料理、加工品に関する検討	07_報償費	10,000	2時間×5,000円
		10_需用費	23,000	食材費等
③	農業者、商工観光業者等と今後の活動について検討	13_使用料及び貸借料	1,000	会場代
④	農業者、需要者等と町内流通について検討	13_使用料及び貸借料	1,000	会場代
合計			300,000	
費目計		07_報償費	10,000	
		08_旅費	0	
		10_需用費	288,000	
		11_役務費	0	
		12_委託料	0	
		13_使用料及び貸借料	2,000	

別記様式第4号

活動計画

団体名	WEAVE			市町村名	由仁町			地区名	由仁地区					
めざす姿	<p>由仁町は、札幌圏に比較的近いという立地条件も影響し、過疎化・高齢化が進行し、農村地域としてのコミュニティの脆弱化が深刻で、地域の活力が低下している。このような中、町内には町外から農家へ嫁に来た女性が多く、この女性たちの間から「町内に知人が少ないため、農家の友人を作り情報交換したい。」「地域や農業のことが分からず不安なので、もっと知りたい。」などの要望が上がり、普及センターが仲介役となって若手女性の会『WEAVE』（編む、織るという意味）が平成25年3月に設立された。会の目的としては、地域・農業への理解を深め、仲間づくりを行うことで、地域の活性化に貢献することである。農村地域にとって、女性たちの存在は活性化のキーになる。今後、この『WEAVE』の活動を促進することにより、高齢者などが蓄積している食に関する伝統技術を継承し、イベントなどを通じて町内外の活発な交流を進めることで、『WEAVE』のメンバーを含め多くの人たちが地域の魅力を再発見し、コミュニティが元気になり、生き活きと農村生活を送ることができるようになる。また、乾燥野菜の販売などを通じて、『WEAVE』の持続化を図り、メンバーの生きがいの創造を進め、このような仲間の拡大を促進することで、由仁町全体の魅力と地域力の向上を図るものである。</p>													
活動の方向	NO	活動の内容				目標(数値・定性)				解決すべき課題				
	①	<p>学習・グループ活動事業 町外から嫁に来た女性が、地域の魅力を認識し、地域に溶け込むための活動を行うとともに、地域の食の伝統の継承を目指す。また、地域の魅力を発信していく。</p>				<p>・新規会員の確保 1人/年 ・農産物加工実習の実施 1回/年 ・SNS を利用した由仁町農業・農村の魅力発信 10回/年</p>				<p>・新規会員の確保 ・地域の伝統的な農産物加工技術の習得 ・地域の魅力発信のための情報伝達技術の習得</p>				
	②	<p>乾燥野菜加工販売事業 乾燥野菜の加工及び試験販売を行う。製造工程の整備、効率化及び衛生管理を向上する。また、販売拡大のため、レシピの開発および商品の改良、販売PR方法の改善を行う。</p>				<p>・乾燥野菜製造販売の取組 70袋/年 ・製造マニュアルの作成 完成品1 ・製造工程の整備・効率化</p>				<p>・計画的な栽培・加工による商品の生産 ・製造工程の効率化および衛生管理の向上 ・商品の改良 ・レシピの開発、販売PR用パンフレットの作成</p>				
③	<p>交流事業 野菜販売を通して消費者交流をすすめる。 魅力あふれる地域づくりにつながるようなイベントとして「クリスマスイベント」を開催する。</p>				<p>・野菜直売の実施 4回/年 ・クリスマスイベント来場者数 100人/回</p>				<p>・会員の積極的な参加と計画的な栽培による品揃えの確保による野菜販売の拡充 ・野菜の特徴や調理に関する知識の向上 ・イベントの効果的なPRと開催内容の充実</p>					
3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	令和2年度(当初)			令和2年度(変更)			令和3年度			最終目標	適用事業	
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標			
	学習・グループ活動事業	①②	先進地へのバス視察研修	170	1回/年開催	※中止							活動の活性化と知識・スキルの習得、農産物加工技術習得	
		①②	農産物加工実習	20	1回/年開催	※中止			農産物加工実習	24	1回/年開催			
	乾燥野菜加工販売事業	②	製造にかかる資材費	60	70袋/年製造	※中止			製造にかかる資材費	30	70袋/年製造		地域特産品として生産体制を整え本格販売を開始する	
		②	販売促進にかかる資材費	45	レジ金庫 商品表示シール	※中止								
		②③	販売促進にかかる出店料・運搬料	35	愛食フェア1回	※中止								
交流事業	②③	クリスマスイベントPRポスター・パンフレット作成	45	ポスター40部 パンフ150部 新聞折込2,000部	※クリスマスイベントは中止。屋外で実施可能な事業を検討し野菜の直売を実施。	127	タープ、装飾用事務用品等の購入	野菜直売にかかる包装、直売所設置資材費	120	4回/年		地域のイベントとして定着させ、消費者交流の場とする		
		クリスマスイベントにかかる装飾費	90	タープ ランタン	※中止			クリスマスイベントにかかる装飾費、PR費	73	ポスター40部 会場用パンフ150部				
計			465			127			247					
関係者等	由仁町産業振興課農政担当					主査	関澤 和之 (連絡先 0123-83-2114)							

令和2年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
実践活動の評価・検証結果

【空知総合振興局】

市町村名	由仁町	
活動地区名	由仁地区	
活動団体名	WEAVE	
活動実績の当初・変更計画との比較	当初・変更	実績
	<ul style="list-style-type: none"> ○学習・グループ活動事業 ○乾燥野菜加工販売事業 ○交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○視察研修は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、バスの中での密閉密集、視察先の状況も考慮して中止とした。 ○農産物加工実習は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、実習時に密閉、密集、密接となるため中止とした。 ○乾燥野菜製造は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、製造時に密閉、密集となることから製造を中止した。昨年度の残り在庫が20袋あり、これを販売もしくはサンプル配布した。 ○昨年度より始めたクリスマスパーティーは、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し開催を中止した。 ○新型コロナウイルスの感染状況を考慮した中で実施可能な事業を検討し、屋外で実施可能な会員が栽培した野菜の直売を企画した。由仁町内アイスクリーム販売店の一角を借りて、9月28日に直売を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・商品表示用シール、金庫の購入 ・タープの購入(今後クリスマスイベントにも使用予定) ・装飾用事務用品の購入
活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学習・グループ活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜栽培・販売の知識・技術向上のための学習活動 ○乾燥野菜加工販売事業 <ul style="list-style-type: none"> ・製造工程の効率化 ・収益性の改善 ・衛生管理方法の確立 ・販売PR方法の改善 ○交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの負担を軽減するイベント準備方法の改善 ・参加者を拡大するためのPR方法の検討 ・イベント内容の充実 ・新型コロナ感染リスクを回避したイベント実施方法の検討 	
次年度の活動方向 (活動の改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習・グループ活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工実習(味噌製造) ・新規会員の確保 ○乾燥野菜加工販売事業 <ul style="list-style-type: none"> ・製造マニュアルの改善 ・販売品目の見直し ・製造工程の効率化、収益性の改善検討 ○交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・町内での野菜直売の実施 ・12月にクリスマスパーティーを開催 ・インスタグラムを利用した由仁町農業・農村の魅力発信 	

活動状況写真
(別添可)

○由仁町「牛小屋のアイス」で野菜直売を実施



来客多数で用意した野菜はほぼ完売した。

総合振興局等から見た活動地区及び活動団体の状況

令和 3年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
地域活動支援事業実施計画

【空知総合振興局】

市町村名	由仁町		活動地区名	由仁地区	
活動団体名	WEAVE				
関連No.	内容	項目(費目)	金額	積算根拠	
①	農産物加工実習(味噌製造)	10_需用費	4,000	漬物樽袋	
		07_報償費	20,000	講師謝礼5000円×4hr	
②	乾燥野菜製造販売	10_需用費	30,000	食品用フリーザーバック	
				キッチンペーパー	
				乾燥剤 等	
③	野菜直売	10_需用費	120,000	パッケージ用シール	
				折り畳みテーブル	
				カード立て 等	
③	クリスマスイベント	10_需用費	73,000	PR用ポスター	
				会場用パンフレット	
				折込チラシ 等	
	活動支援	10_需用費	76,000	トナー代 等	
合計			323,000		
費目計		07_報償費	20,000		
		08_旅費	0		
		10_需用費	303,000		
		11_役務費	0		
		12_委託料	0		
		13_使用料及び貸借料	0		

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 活動計画

【オホーツク総合振興局】

市町村名	美幌町、網走市、小清水町、津別町、大空町、北見市、滝上町	活動地区名	オホーツク広域	活動団体名	オホーツク農村ツーリズム連携会議		
活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> 活動企画団体間の意見交換、情報交換を通じ、人材交流を図るとともに担当者の企画運営力のスキルアップをめざす。 各地域の個性や特性を活かして取組んでいる活動企画団体の各種事業を有機的に構成し、旅行者に提供する体制を整え、オホーツク地域圏での長期滞在者増加を促進する。 地域間の連携を深め、地域住民の参加や協力を得ながら、体験型観光の広域的な受入体制及び教育旅行の広域的な受入体制を構築し、新たな集客を図り地域の活性化を図る。 						
活動の方向	No	活動の目的	活動の内容	目標(数量・定性)			
	①	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携の必要性、優位性についての意思統一 各団体間の協力体制の強化 広域連携による具体的な仕組み、商品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 連携会議の運営、幹事会・部会の開催 各団体の取組みを知り広域連携体制の構築を図る 地域住民の協力拡大に向けた研修会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 幹事会、部会開催回数 年4回 各団体を訪問する現地研修会開催回数 年1回 地域住民対象の研修会回数 年1回 			
	②	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド、FITに対応した広域連携による農山漁村活用型の体験コンテンツ造成とガイド人材の育成 教育旅行に対応した体験型コンテンツ造成及び異業種連携による受入体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド、FIT対応型広域連携による体験コンテンツツアーの試験実施 ガイド育成、ガイドレベル向上を図る講習会等の開催 教育旅行における体験型コンテンツの試験実施 異業種間連携の意識醸成を図るセミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型コンテンツモニターツアー実施(インバウンド、FIT、教育旅行) 年2回 ガイド育成講習会の開催 年2回 異業種間連携強化のためのセミナー開催 年1回 			
③	<ul style="list-style-type: none"> 管内広域連携による教育旅行受入体制の拡大 教育旅行受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験時に必要な長靴、ツナギ服を確保し、受入体制の充実を図る 先進事例を学ぶ研修会等を開催し、受入農家の拡大と推進態勢の強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 受入地域の拡大 2団体 → 5団体 地域間連携による教育旅行受入実施 				
3年間の活動プロセス	関連No	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		内容	予算額	内容	予算額	内容	予算額
	①	<ul style="list-style-type: none"> 各団体を訪問する現地研修会開催(体験料等) 地域住民参加型の研修会開催(講師謝金、旅費、会場使用料)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 16千円 79千円 (95千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体を訪問する現地研修会開催(体験料等) 地域住民参加型の研修会開催(講師謝金、旅費、会場使用料)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 16千円 79千円 (95千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体を訪問する現地研修会開催(体験料等) 地域住民参加型の研修会開催(講師謝金、旅費、会場使用料)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 16千円 79千円 (95千円)
	②	<ul style="list-style-type: none"> 体験コンテンツツアーPR動画作成 ガイド育成講習会(2回) 体験型コンテンツモニターツアー(バス借上料) 異業種間連携強化を図るセミナー開催(1回)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 103千円 158千円 150千円 79千円 (490千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験コンテンツツアーPR事業費(イベント出展用品作成) ガイド育成講習会(2回) 体験型コンテンツモニターツアー(バス借上料) 異業種間連携強化を図るセミナー開催(1回)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 200千円 100千円 150千円 50千円 (500千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験コンテンツモニターツアー開催(連携機関のガイドが造成したコンテンツ)(バス借上料) 体験コンテンツエリアマップ作成(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 200千円 300千円 (500千円)
	③	<ul style="list-style-type: none"> 教育旅行受入用長靴(42足) 教育旅行受入用ツナギ服(44着) 霧吹き型ボトル(10本) 消毒液(5L×5) 教育旅行推進研修会(1回) 教育旅行モニターツアー(バス借上料)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 93千円 119千円 6千円 60千円 61千円 140千円 (479千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 教育旅行受入用長靴(69足) 教育旅行受入用ツナギ服(69着) 非接触型電子体温計(5個) 霧吹き型ボトル(10本) 消毒液(5L×3) 教育旅行推進研修会(1回)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 152千円 187千円 37千円 6千円 36千円 61千円 (479千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 教育旅行受入用長靴(52足) 教育旅行受入用ツナギ服(51着) 非接触型電子体温計(5個) 霧吹き型ボトル(10本) 消毒液(5L×7) 教育旅行推進研修会(1回)(小計) 	<ul style="list-style-type: none"> 115千円 138千円 37千円 6千円 84千円 61千円 (441千円)
合計		1,064千円		1,074千円		1,036千円	
活動団体構成員 ※各協議会の構成員は別紙のとおり	美幌町観光まちづくり協議会(※)	オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会(※)			小清水町観光協会		
	津別町役場	大空町地域雇用創出協議会(※)	北見市農泊推進協議会(※)		滝上町農泊観光地域づくり協議会(※)		
関係機関・団体	農林水産省北海道農政事務所						
連携・協力機関・団体	株式会社農協観光北見支店						

オホーツク広域地区構成地域協議会の構成員等

【別紙】

名称	代表（事務局）	構成員	農泊実施年
美幌町観光まちづくり協議会	商工会議所代表 （商工会議所）	商工会議所 観光物産協会 農協、森林組合 信用金庫 体験・民泊事業者 振興公社 美幌町	H31～R2
オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会	民間事業者 （民間事業者）	観光・小売り等事業者 農業者・漁業者 旅行事業者 ガイド事業者 マルシェ実行委員会 東京農大（オホーツク） 観光協会 網走市	H30～31
大空町地域雇用創出協議会	農業者 （産業公社）	農業者、農業者団体 産業公社（道の駅等） 食品加工事業者 体験提供事業者 東京農大（オホーツク） 商工会 大空町	H30～31
北見市農泊推進協議会	観光協会代表 （観光協会）	観光協会 飲食衛生組合 ホテル・旅館組合 JA青年部 農業・飲食等組織 体験等受入組織 北見市	R1～2
滝上町農泊観光地域づくり協議会	観光協会代表 （観光協会）	観光協会 畑作・酪農・ハッカ・七面 鳥生産組合 森林組合 NPO法人（溪流等保護） ホテル、レストラン 滝上町	H30～31

令和3年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業
地域活動支援事業実施計画

【オホーツク総合振興局】

市町村名	美幌町、網走市、小清水町、津別町、大空町、北見市、滝上町	活動地区名	オホーツク広域	
活動団体名	オホーツク農村ツーリズム連携会議			
関連No.	内容	項目(費目)	金額(円)	積算根拠
①	・各団体訪問、現地研修会開催	11_役務費	16,000	体験料・@1,600円×10名
		07_報償費	39,000	(講演料)@13,000円/時×3時間×1回
	・地域住民参加型研修会開催	08_旅費	35,000	(道内1泊2日)@35,000円/回×1回
		13_使用料及び貸借料	5,000	(会場使用料)@5,000円/回×1回
小計			95,000	
②	・PR動画撮影	12_委託料	103,000	(近隣市町の業者)一式・103,000円
		07_報償費	78,000	(講演料)@39,000円/回×2回
	・ガイド講習会	08_旅費	70,000	(道内1泊2日)@35,000円/回×2回
		13_使用料及び貸借料	10,000	(会場使用料)@5,000円/回×2回
	・体験型コンテンツモニターツアーバス借上料	13_使用料及び貸借料	150,000	@75,000円/回×2回
		07_報償費	39,000	@39,000円/回×1回
・異業種間連携セミナー	08_旅費	35,000	(道内1泊2日)@35,000円/回×1回	
	13_使用料及び貸借料	5,000	(会場使用料)@5,000円/回×1回	
小計			490,000	
③	・教育旅行受入用長靴	10_需用費	92,400	@2,200円×42足
		10_需用費	118,800	@2,700円×44着
	・霧吹き型ボトル	10_需用費	6,000	@600円×10本
		10_需用費	60,000	@12,000円×5本
	・教育旅行推進研修会	07_報償費	26,000	(講演料)@13,000円/時×2時間×1回
		08_旅費	35,000	(道内1泊2日)@35,000円/1名×1回
・教育旅行モニターツアーバス借上料(大阪市内の高校)	13_使用料及び貸借料	140,000	@35,000円/1台×2台×2日	
小計			478,200	
合計			1,063,200	
費目計		07_報償費	182,000	
		08_旅費	175,000	
		10_需用費	277,200	
		11_役務費	16,000	
		12_委託料	103,000	
		13_使用料及び貸借料	310,000	

別記様式第2号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 活動計画

【十勝総合振興局】

市町村名	本別町	活動地区名	本別地区	活動団体名	ほんべつ☆うきうき未来らぼ		
活動の目標	各種団体に属さず地域活動に参加できていなかった住民同士の繋がりを創出し、コミュニティを形成する。そこから若者男女を問わず皆で地域における課題を抽出し、解決に向けた具体的な行動を起こし、住民一丸となって地域の活性化と未来に向けた持続可能なまちづくりを目指す。						
活動の方向	No.	活動の目的	活動の内容		目標（数量・定性）		
	①	住民同士の繋がりを創出し、地域における連携、協力体制を強化する。住民主体の持続可能なまちづくりに向け意識を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ほんべつ☆うきうき未来らぼミーティング ◆住民主体のまちづくりに向けた研修会 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ミーティング開催（6回/年） ◆まちづくり研修会開催（1回/年） ◆幅広い地域住民の参加と意識の共有（随時） ◆先進地視察による勉強会の実施（1回/年） 		
	②	関係人口の増加や移住者等とのコミュニティを形成し、都市と地域や地域内での交流を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆体験イベントをもとに町内外の方との交流を深める。 ◆移住されてきた方等を紹介カードにて発信し地域内での活動を紹介、応援する。 ◆新たな発想で町内スポットを巡礼地化し、発信・集客を目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆移住者交流イベントの開催（1回/年） ◆イベント用ユニフォームの製作（1回/年） ◆紹介カード作成・配布（3名/年） ◆何かの巡礼地化を検討し、スポット探し・発信を行う（1回/3年） 		
	③	新たな観光資源を発掘・発信することによって町内の魅力を多くの方々に知ってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ◆町内の自然を生かした様々なアクティビティーの検討開発 ◆発掘したアクティビティーの体験会の開催 ◆実証に向けた体制の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ◆先進地視察、各アクティビティー専門家の講演（1回/年） ◆発掘アクティビティーの体験会の開催（1回/年） 		
	④	子供たちと本別だから出来る事の体験活動や地域学習を通して郷土愛を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆子供たちが町を一度離れても戻ってきたいと思ってもらえるような活動をする。 ◆特産物での食育体験や屋外活動体験 		<ul style="list-style-type: none"> ◆地元産食材（豆・小麦など）を使用した食育体験・メニュー開発（1回/年） ◆屋内外スポーツ体験等の実施（1回/年） 		
	⑤	地元食材のアピールや町民・学生と連携したフードロス対策への取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元産食材を活用した調味料（万能タレ）の試作・開発 ◆試食会・アンケート収集により地域での『このみ』の調査 ◆地域食材の可能性のリサーチ、食育推進計画作成検討 		<ul style="list-style-type: none"> ◆試作品開発会の実施（3回/年） ◆試作品試食会・広報・アンケートの実施（1回/年） ◆食育推進計画作成の検討会議の実施（2回/年） 		
⑥	各活動の情報発信を行うことによって町内外への認知度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆各活動担当者からの活動報告をSNS等にて発信する。 ◆情報収集により各活動担当者への情報提供を行う。 ◆クリエイター等と協力して幅広い発信にてアピールする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆チラシ・SNS等への掲載・アップロード（随時） ◆町内外の様々な情報の収集・情報提供（随時） ◆アートを活用しての発信の検討会実施（1回/年） 			
3年間の活動プロセス	関連No.	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		内容	予算額	内容	予算額	内容	予算額
	①	全体ミーティング	0千円	全体ミーティング	0千円	全体ミーティング	0千円
	①	まちづくり研修会	58千円	まちづくり研修会	58千円	まちづくり研修会	58千円
	①	先進地視察	266千円	先進地視察	266千円	先進地視察	266千円
	②	移住者交流イベント開催	80千円	体験イベント開催	80千円	体験イベント開催	80千円
	②	ユニフォーム制作	30千円	ユニフォーム制作	30千円	ユニフォーム制作	30千円
	②	紹介カード作成	50千円	紹介カード作成	50千円	紹介カード作成	50千円
	③	アクティビティー講演会	56千円	アクティビティー講演会	56千円	アクティビティー講演会	56千円
	③	アクティビティー体験会	130千円	アクティビティー体験会	130千円	アクティビティー体験会	130千円
	④	食育体験	132千円	食育体験	132千円	食育体験	132千円
	④	ワークショップ体験	86千円	ワークショップ体験	86千円	ワークショップ体験	86千円
	⑤	試作品開発	70千円	試作品開発	70千円	試作品開発	70千円
	⑤	試作品試食会	70千円	試作品試食会	70千円	試作品試食会	70千円
⑤	食育推進計画検討会議	0千円	食育推進計画検討会議	0千円	食育推進計画検討会議	0千円	
⑥	広報チラシ	180千円	広報チラシ	180千円	広報チラシ	180千円	
⑥	アート活用検討会	0千円	アート活用検討会	0千円	アート活用検討会	0千円	
関係機関・団体	本別町役場						
連携・協力機関・団体	本別町観光協会		本別町農業協同組合・青年部・女性部		道立農業大学校		
	本別町商工会・青年部・女性部						

別記様式第3号

令和3年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 地域活動支援事業実施計画

【十勝総合振興局】

市町村名	本別町	活動地区名	本別地区	
活動団体名	ほんべつ☆うきうき未来らぼ			
関連No.	内容	項目(費目)	金額(円)	積算根拠
	まちづくり研修会	07_報償費	28,000	14,000円×2時間
		08_旅費	30,000	札幌～本別 1泊2日
	先進地視察	07_報償費	26,000	13,000円×2時間
		13_使用料及び賃借料	200,000	バス借上料
		13_使用料及び賃借料	40,000	会場費等
小計			324,000	
②	移住者交流イベント開催	10_需用費	50,000	A1ポスター1500円×30枚
		13_使用料及び賃借料	30,000	音響スピーカー等1式
	ユニフォーム制作	10_需用費	30,000	3000円×10枚
	紹介カード作成	10_需用費	50,000	配布カード5円×10000枚
小計			160,000	
③	アクティビティー講演会	07_報償費	26,000	13,000円×2時間
		08_旅費	10,000	更別～本別
		13_使用料及び賃借料	20,000	カヌー等の使用料
	アクティビティー体験会	11_役務費	80,000	受講料10000円×8名
		13_使用料及び賃借料	50,000	バス借上料
小計			186,000	
④	食育体験・どんぶりメニュー開発	07_報償費	52,000	13,000円×2時間×2回
		10_需用費	60,000	材料費等
		13_使用料及び賃借料	20,000	会場費
	ワークショップ体験	07_報償費	26,000	13,000円×2時間
		11_役務費	40,000	受講料5000円×8名
		13_使用料及び賃借料	20,000	機材等賃借料
小計			218,000	
⑤	試作品開発	10_需用費	50,000	材料費等
		13_使用料及び賃借料	20,000	会場費
	試作品試食会	10_需用費	50,000	材料費等
		13_使用料及び賃借料	20,000	会場費
小計			140,000	
⑥	広報チラシ	10_需用費	140,000	印刷代
		11_役務費	40,000	折込代
小計			180,000	
合計				
		07_報償費	158,000	
		08_旅費	40,000	
		10_需用費	430,000	
		11_役務費	160,000	
		12_委託費	0	
		13_使用料及び賃借料	420,000	
			1,208,000	